

研究協力をお願い

札幌孝仁会記念病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

<p>課題名</p> <p>緩和期がん患者におけるリハビリテーション専門職による Advance Care Planning (ACP) 実践の臨床的検討 — 機能変化パターンに基づくケースシリーズ —</p>
<p>1. 研究の対象および研究対象期間</p> <p>過去5年間に当院において緩和ケアを受けられたがん患者さん</p>
<p>2. 研究目的・方法</p> <p>目的：本研究は、緩和期がん患者におけるリハビリテーション専門職の ACP 関与の実態を明らかにし、機能変化と意思決定との関連を検討することを目的としています。</p> <p>方法：過去5年間で札幌孝仁会記念病院にて診断治療された患者さんで緩和ケアチームが介入しその後の経過観察を行った症例を対象に、診療録から以下の情報を収集します。</p> <ul style="list-style-type: none">• 患者背景（年齢、性別、診断）• 機能状態（ADL、移動能力、認知機能等）• リハビリテーション介入内容• ACP に関する記録（価値観、意思決定過程）• 医療・ケアの選択（療養場所、治療方針） <p>収集したデータをもとに、機能変化パターンと ACP への影響を整理し、記述的に分析します。</p>
<p>研究期間</p> <p>倫理審査委員会承認後から 2026 年 9 月まで(予定)</p>

3. 研究に用いる試料・情報の種類

本研究は診療録を用いた後ろ向き観察研究であり、新たな検査や治療は行いません。
本研究では、以下の情報を使用します。

- 年齢、性別
- 病名および治療経過
- 症状（疼痛、呼吸困難など）
- 日常生活動作（ADL）
- リハビリテーションの内容
- ACPに関する記録（治療方針、療養場所など）

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：社会医療法人孝仁会 札幌孝仁会記念病院 内科 研究責任者：寒河江 悟

住所：063-0052 札幌市西区宮の沢2条1丁目16-1 電話番号：011-665-0020

その他、本研究の計画、実施、発表に関して可能性のある利益相反（conflict of interest）はありません。